



# FRIENDS

The Friendship Force of Saitama 会報 第 89号(2014)  
<http://www.h7.dion.ne.jp/~saitama/>



## 2014年 年次総会 (2014. 1. 26)



1月26日(日)1時から北浦和のカルタスホールで総会を開催しました。会員62名中出席32名、委任状提出20名で総会は成立しました。

司会は池田副会長、議長は羽島理事により、議事が進行しました。

2013年度事業報告、同決算報告、2014年度事業計画案、同予算案など全て承認されました。代表が世界大会、日本大会などに参加する場合の会議参加費について質疑が交わされました。

又、欠員となっていた副会長2人に池田理事、増田理事を推薦し承認されました。新理事として高堂綾、外山哲代、柴田淑恵の3人を提案し、承認されました。

総会終了後、5つのグループに分かれてFFの活動について話し合いを行いました。くじ引きで決まったグループ分けで、初めての会員同士も色々突っ込んだ話もできて和気あいあい、楽しい時間となりました。

(埼玉クラブ会長 原田 史)

## 2013 New Orleans USA 世界大会に参加して

高堂 綾



二度目の世界大会に参加して多くの方々が国境を越え親睦を深めている姿を眺めてまいりました。今回は、私も昨年ホームホストを致しましたGusutaveとGayaご夫妻、初めての渡航で戸惑っている私に手を差し伸べてくれたCarolyn(彼女は、今サクラメントの会長です)、ハンブルク世界大会の後Rheinhessenで行動を共にしました友人達との再会は、こんなにも世界が身近に感じられる感動の場所でした。

この様にしてFF活動を続けることにより世の中を見る視野が広がり、今後の人生観も増々心豊かになる気が致します。皆様も是非一度世界大会にいらしてみ下さい。

All That Jazzの音楽は最高でした。

## 2013 Year-end Party

加藤 明世



昨年12月16日浦和コミュニティセンターにて開催しました。ゲストを含め43名が集い、年末の午後のひと時会員自身をomote nashi過ごしました。スライドとモロッコ茶をいただきながら稲垣洋子さんのモロッコ渡航報告、埼大落研による落語、コーラスなどを楽しみました。



又、バザーでは、匿名希望の方から、一万円の寄付があり、含めて41270円をクラブ費に計上させていただきました。皆様には出品・お買い上げなどご協力いただき有難うございました。



## 2014年 World Friendship Day

西村介延



結果として、外国人ゲストについては、カザフスタン、スリランカ、タイ、ネパール、バングラデッシュ、韓国などと多彩な国々からゲストを迎える事ができ、自己紹介では、ゲストからは日本での生活のいろいろな話を聞いた。また、PCやプロジェクターを活用したプログラムでは、FFIの成り立ち、ニューオリンズでのFF世界大会の話題、ハンガリーの紹介動画などを流し、特にゲストには、フレンドシップ・フォースへの理解を深めてもらえたと思う。

ワールドフレンドシップ・デーを、3月1日(土)に与野本町コミュニケーション・センターで、会員、ゲストを含め、53名の参加を得て開催した。ワールドフレンドシップ・デーは、世界の人々との友好を深めるため、2005年よりFFIや世界各国のクラブで開催されており、今年10年目に当たります。



## グローバル人材としての留学生 — 埼玉大学シンポジウム — 大熊 幸雄

埼玉大学には、33か国、約540名の留学生が学んでいます。2014年2月17日、シンポジウム「埼玉県のグローバル人材としての留学生 ～日本社会は留学生に何を求めているのか～」が埼玉大学などの主催で開催され、原田会長、五十嵐事務局長ほかが参加しました。

シンポジウムでは、田口芳弘氏 (GGS副センター長) による「埼玉県における高等教育機関のグローバル人材養成の現状と課題」と題する基調報告に続いて、東京国際大学遠藤副学長、埼玉県経営者協会根岸専務理事、芝浦工業大学崔教授、GGS田口副センター長、そして日本企業に就職した元留学生2人をパネリストにパネルディスカッションがあり、グローバル化の問題点、今後の課題及び元留学生の体験談などの意見交換が行われました。終了後、留学生会によるパーティが開かれ、グローバル・クイズ、懇親などで交流を深めました。



## 埼玉大学博士課程のスリランカ青年Jayasankaとの交流について 田中新一、ヨシ



私達は前会長の沼さんのご紹介で埼玉大学の博士課程で学んでいるJayasankaさんと2011年9月より交流を始めました。彼は奥様Sumiyaさんも日本にいましたのでご夫婦どうぞ我が家に来てくださいと伝えたところ快く受け取っていただきお二人でわが家を訪問してください。それ以来私達夫婦と4人でお付き合いが始まりました。

最初の訪問の日には4人でピザを手作りして楽しみました、とても喜んでくれました。それから先月スリランカへ帰国するまでの約2年半私達は季節に合わせてフジの花を見に行ったり、ブドウを楽しんだり、桜の花を見に行ったりと沢山の楽しい思い出ができました。

Jayasankaさんは昨年無事に博士課程を修了し、奥様のSumiyaさんは今年修士課程を修了博士課程の試験に合格しましたが赤ちゃんが誕生した為に休学し今年4月に帰国しました。とても素直で楽しいご夫婦でした、来年また来日したら交流が再開できるのを楽しみにしています。

## 台湾渡航 くった とった わらった 石井 友美

宮城クラブの呼びかけで参加した台湾渡航、まず食べ物がすごく美味しい！！朝、ホストの方の手作り饅頭、自家製の果物、野菜、昼は中華バイキング、その後市場見学でいつもの味見、えびづくしの夕食、寝る前に大ジョッキ一杯の野菜ジュース。連日こんな感じでいつも満腹、胃が3つあっても足りません。又、台湾の方は日本人以上にカメラ好き。日本語で「しゃん、しゃん」「いっしょ、いっしょ」とパチリ、モデルが多少入れ替わってパチリ、5秒後に又パチリ。この繰り返し。アンバサダー全員の記念写真となるとカメラの放列、どのカメラをみていいの？ちょっとしたスター気分です。

そして3日間のバスツアーでは窓から見える漢字で書かれた看板を見て、例えば野獣学校(誰が生徒?) 一品夫人(どんな方?)花嫁モーテル(?!)

宮城クラブの方がたと ああじゃないこうじゃないと元乙女達の修学旅行のノリで笑いっぱなし。真夜中の高雄駅でのお迎えから真紅のチャイナ服を着せられたフェアウエルパーティまで熱烈歓迎の最高の旅でした。台中では2日間お世話になりました。

同じ年のホストマザーが小さい時お母さんにきいたという「桃太郎さん」を日本語で歌ってくれました。



日本と台湾の歴史を感じさせられたひとときでした。

特集 ブダペスト受入れ

# ブダペストクラブを受け入れて ED 五十嵐佑子



昨年9月から始動、11月に交換委員募集、3回の交換委員会、1回のワークショップを経て、受入れは準備万端整いました。ところが、突然受入れ1か月を切った時、「交換行事はすべて、夜6時以降の2時間に圧縮して行い、昼はフリーにして東京観光にしてほしい。」と要求してきたのには、愕然としました。夜の行事のための場所の確保は今さらできず、何よりも、それでは埼玉クラブとの交流よりも、我々はただのホテル代わり、無料の案内人と化してしまいます。必死の「FF精神に則った交換を！」との説得が功を奏し、計画通りの交換に戻すことができました。とは言え、強い要望通りの箱根バスツアー、ハンガリーデー、東京ツアー、日光バスツアーなどが計画され

たため、忙しすぎ、ゆっくり埼玉を案内できず、交流が十分にできなかった感があります。FFの精神を生かすべき運営は今後の大きな課題になると思います。しかし、いざアンバサダーにお会いしてみると、個人的には非常に良い方ばかりで、気持ち良く接する事ができました。会員皆様の多大なご協力のお蔭で、一転大成功の交換となりました。皆様には、EDの未熟さを補っていただいて、本当に感謝に堪えません。

今回は特に応援をいただいたお蔭で乗り切れました。有難うございました。

## ウエルカムパーティー 岩崎倉子

3月31日、浦和コミュニティセンターにてブダペストクラブ14名を含む59名が参加してウエルカムパーティーが開催されました。



司会は、私が日本語で。通訳はブダペストクラブEDのEvaさんがハンガリー語で行った。事前にEDの五十嵐さんが、Evaさんに内容を説明して下さったのをハンガリー語に。

お互いに言葉が分からないので一行ずつ番号をつけて進行。どうなるかと思いつつ。私達メンバーによる着物地の手作りバッグは正面に飾っておき、アンバサダーの方々に選んでいただけました。アンバサダーの皆様が一番喜んで下さった着物の着ている時間が短くなってしまったが、女性陣はもちろんのこと、男性陣7名が特に少年のようにcomfortableと言って嬉しそうでした。

## 日光バスツアー 西村純枝

4月1日消費税が8パーセントになった朝、アンバサダー14名、日本人28名総勢42名が日光に向けて8時大宮を出発。天気も良く先ず竜頭の滝、中禅寺湖、華厳の滝を見てから日光東照宮、輪王寺のコースを選んだ。

日光はブダペストクラブのマストであったので陽明門が修復中であることも承知で出かけた次第。しかしそのことを補うように男体山やここにあるいつも以上の残雪が景色に彩を加え、竜頭の滝も水量が多く見事な景観であった。以前もこのコースでのツアーを何回かやっていたとすることで、少し欲張りコースかなと思いつつも是非日光をとの希望があったのでお連れした。しかし今回のハンガリアン・アンバサダー達は、良く言えば、いろいろな事に興味津々で、旗を振ろうが、デイホストが促そうが、ひよいといなくなると煙草タイムを欠かさずいれながら、なかなかグループに戻ろうとせず日本人デイホストの方々には、気苦労をおかけしてしまった。

基本的には、個人で自由に動きたいとの思いが強いただろう方々をその気持ちに添いながら誘導する大変さを今回は、特に感じた。



ブダペストクラブのメンバー構成が前から活動されている4名を除いては、今回初めて参加のアンバサダーだったことも影響しているのではとの指摘もあった。しかし、どのアンバサダーも埼玉式FF活動に触れ、そのちょっとした不自由さをもデイホストとのやり取りの中でむしろ楽しみ、より親密な一日を過ごされたように思った。

今は、どのアンバサダーの顔も懐かしく愛おしい想いすらある。バス係3人の仲間とバス会社の菱沼氏の根気強い優しい対応に大いに助けられてのツアーであった。私自身怖いな～と思っていたいろは坂も何十年前とは違って驚きのおまけつきだった。

## 初めてのホームホストを受けて 柴田 淑恵



ハンガリーからのゲストお迎えの当日。今回は一人のゲストを前半(郡山家)後半(拙宅)と分けた日取りでお受けする事になりました。それが幸いしてか初めてのホームホストとは言え、それ程の緊張もなくお迎えできました。

バスから降り立ったBarnabas BARTFAI氏は、私のハスキーな声が届いてくれるかしらと思わせる位の長身。何ええ192cm、高い。毎日精力的に出掛けられていたので、後半のお引き受けした時には少々お疲れでは?と思いましたが、感じさせない程に、気配りの行き届く、実に紳士的な方でした。IT関係の書籍執筆、出版等、また学校や企業にも出向き、教えておられるとの事。

そして、今回の渡航の為に彼が編集し、用意して下さったプロモーションビデオは、ハンガリーの素晴らしさを体感出来たものでした。また、ご自分でプランニングをしたと言う住まいの写真を拝見。そのカラフルな色使いに感嘆し、氏の愛着を感じる素晴らしい豪邸でした。ホスト最終日、郡山さんも含め賑やかなディナー。食のスタイルを変えなかった彼が初めてお箸を使った事で、大いに盛り上がり、嬉しい時でもありました。郷に入っては郷に従えとは言いますが、彼の心の機微、その置き土産に感謝。繰り返して教えて下さった テェ エゲシゲテラ! で。再会を期して、Te Egészségedre! See you!

# フェアウエルパーティー

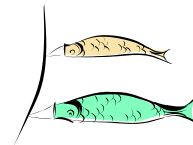
濱田聖子



ハンガリーのブダペストクラブが、埼玉に来てから、あっという間の一週間がたち、フェアウエルパーティーの日がやってきました。思いがけなく、パーティーの、チーフになってしまい戸惑うことばかりでした。でも今回は、ボトックパーティーなので、当日は、参加者のおかげで、とてもバラエティーに富んだ。お料理や、デザートが並び、アンバサダー達も、とても喜んでくれた様子でした。

イベントの、ヨーロッパ風ダンスも楽しく、皆で、ダンスを踊って楽しんでもらえました。アンバサダーたちからも、香りのプロポーズや、ゲームで歌で楽しませてくれました。そして盛り上がった、花笠音頭など、なごやかなうちに、閉会になりました。今回やってみて、いつの場面でも、会員の協力がおしみなく有ったということが何とかパーティーを無事終えることができた、最大の要因だったと思います。これからも、楽しみながら、自分が、できることをやり、人と人との、交流を深めて行けたならと思っています。

## クラブからのお知らせ



### 1.新入会員のご紹介(敬称略)

- 1.恩田きよ子、2.菊田 旭、3.富岡正男、4.林 金枝、5.村松江伊子  
以上5名の方々が入会されました。

### 2.クラブの今後の活動

5月03日 (土)	4日 (日)	国際友好フェア
5月18日 (日)	10:00 理事会	シーノ7F 講座室3
	13:30 ウイニペグ他 渡航第1回ワークショップ	シーノ6F 工作工芸室
6月15日 (日)	10:00 理事会	シーノ7F 講座室2
7月20日 (日)	10:00 理事会	場所未定
	13:30 ウイニペグ他 渡航第2回ワークショップ	場所未定

#### 渡航・受入予定

- 渡航 : 9月 ウイニペグクラブ(カナダ)・ロングアイランドクラブ(米国) 渡航(9.3~9.17)  
受入 : 11月 ルーヴァンクラブ(ベルギー) (11.17~11.24)

編集・発行  
ザ・フレンドシップ・フォース・オブ・埼玉 事務局  
〒337-0052さいたま市見沼区堀崎町295-7  
TEL:048-684-9733 FAX:048-684-9733  
発行日:2014年4月30日